

ワークショップ



研究成果



台風19号からの出発

水戸市飯富地区

川の記憶と まちづくりの ナラティブ

Visual Narrative Mapping

ナラティブ展示



語りマップ

飯富小・中学・特支学校作
郷土かるた展示



2024 **5/10** 金 - **17** 金 10:00-16:00

最終日15時閉館

・ワークショップ：5/11（土） ①11時～12時・②15時～16時・

茨城大学水戸キャンパス 図書館1階 展示室

入場無料
申込不要

主な展示内容

飯富地区住民の語り

語りマップ

郷土かるた

2019年10月、台風19号（令和元年東日本台風）により、水戸キャンパスにほど近い飯富地区は大きな被害に見舞われました。

私たちは、地域の方々のナラティブ（語り）に耳を傾け、時に語り合いながら、水害だけではない川と共に生きる人々の「川の記憶」と向き合ってきました。

この展示は、水害をきっかけに出会った住民と研究チームが3年間にわたり共有したナラティブ（物語）や活動について展示することをとおして、まちづくりと防災のこれからを考えるきっかけとなることを願っています。

主催：茨城大学人文社会科学部社会行動論ゼミ（伊藤哲司ゼミ）・研究チーム

協力：つどう つながる つむぎだすラボ ・ いいとみっと

・お問合せ・

tetsuji.ito.64@vc.ibaraki.ac.jp